



金沢区制 70 周年記念参加事業

# カリスマ4講師による連続歴史講座！ 横浜金沢・金沢八景の歴史と魅力

現代から800年前までタイムトラベル！



第1回講師  
田中常義氏



第2回講師  
西川武臣氏



第3回講師  
西岡芳文氏



第4回講師  
五味文彦氏

## 第1回講座 金沢の海辺の変貌と金沢地先埋立

ペリーも見た金沢の海辺・その埋立の経緯と裏話

講師：田中常義氏（NPO 法人野口英世よこはま顕彰会理事長、元横浜市港湾局理事・港湾整備部長）

日時：平成 30 年 11 月 25 日（日）13:30～15:00

会場：金沢公会堂多目的室（区役所 2 階） 定員：100 名

※本講座関連パネル展示も行います（11 月 25 日～12 月 1 日）

## 第2回講座 幕末・明治の金沢

金沢地域の西洋化を地域に残された日記から紹介

講師：西川武臣氏（横浜開港資料館館長）

日時：平成 30 年 12 月 16 日（日）13:30～15:00

会場：金沢地区センター大会議室 定員：80 名

## 第3回講座 金沢八景の成立と展開

江戸時代に名づけられた金沢八景。庶民も含めて異空間旅行の楽しみだった

講師：西岡芳文氏（前神奈川県立金沢文庫学芸課長、上智大学文学部特任教授）

日時：平成 31 年 1 月 12 日（土）13:30～15:00

会場：金沢地区センター大会議室 定員：80 名

## 第4回講座 金沢八景の歴史とその魅力

歌・絵・文章に現れた風景の中に金沢八景の魅力と歴史を探る

講師：五味文彦氏（東京大学名誉教授、放送大学名誉教授、横浜市ふるさと歴史財団理事長）

日時：平成 31 年 2 月 16 日（土）13:30～15:00

会場：新金沢公会堂ホール 定員：550 名

### ◆参加費：講座ごとに500円（資料代を含む）

- ・各講座の当日に会場受付で申受けます

### ◆会場・定員：左記参照

- ・第1回、第2・3回、第4回で会場・定員が異なります

### ◆申込受付：各講座とも往復はがきで。先着順受付

- ・はがき1枚で1名様申込
- ・1枚で複数講座の一括申込が可能

### ◆申込締切

- ・1講座ごとの単独申込：申込講座開催日の10日前
- ・複数講座の一括申込：最初に開催される申込講座の開催日の10日前  
先着判定は受付時点で講座ごとに実施

### ◆申込先：〒236-0037 横浜市金沢区六浦東3-3-21 NPO 法人横浜金沢文化協会 事務局 連続歴史講座担当

### ◆問合せ電話番号：045-782-0705（深津）

### 往復はがきの記載例

往信	〒236-0037	(返信の裏面) [空欄]
横浜市金沢区 六浦東3-3-21	返信 〒郵便番号	(往信の裏面) 横浜金沢文化協会主催の 連続歴史講座に参加を申 込めます。
NPO 法人 横浜金沢文化 協会 事務局 連続歴史講座 担当	あなたの住所 あなたの氏名	① 参加希望の回 (※: 第1回、第2回…) ② 〒郵便番号 住所 ③ 氏名 (ふりがな) ④ 連絡電話番号

各講座の概要  
は裏面参照

主催：NPO 法人横浜金沢文化協会

後援：金沢区役所・金沢区制70周年を区民協働で彩る実行委員会

協力：NPO 法人横浜金沢文化協会



## 各講師の講座概要・出版物など



### 第1回講座 金沢の海辺の変貌と金沢地先埋立

講師：田中常義氏 日時：平成30年11月25日（日）13:30～15:00

ペリー艦隊が現在の八景島付近の海面へ来航・停泊するなど、多くの歴史を持つ富岡から野島に連なる海食崖前面に広がる金沢の海辺の変遷を、主に埋立地に生まれた金沢シーサイドタウン・LINKAI 横浜金沢産業団地とともに、祇園舟と富岡船溜まり、旧長浜検疫所と野鳥観察園、海辺の散歩道や公園名に残る旧漁場名、区設置時の懸案であった「横浜市と横須賀市の市境～野島・夏島問題」など区内のまちとのかかわりをふまえ紹介します。

出版物など：横浜大棧橋物語/横浜の埋立/横浜港史/金沢地先埋立事業史、ほか

### 第2回講座 幕末・明治の金沢

講師：西川武臣氏 日時：平成30年12月16日（日）13:30～15:00

現在の金沢区がある一帯は、中区に開港場が置かれると外国人が訪れるような場所になりました。そのため、この地域では開港場に次いで急速に西洋化が進みました。講座では、明治4（1871）年に現在の金沢区内に生まれ、その後、釜利谷学校の教員、六浦荘村の収入役・助役・村長を歴任した布川悦五郎の日記を題材に、地域の西洋化の歴史を紹介します。

出版物など：浦賀奉行所/ペリー来航/横浜開港と交通の近代化、ほか

### 第3回講座 金沢八景の成立と展開

講師：西岡芳文氏 日時：平成31年1月12日（土）13:30～15:00

金沢八景という景勝地は、江戸時代になってから名付けられ、江戸の住民や東海道を往来する人々に親しまれました。人々は、入り海の織りなす風景と鎌倉時代の文化を色濃く残す史跡をめぐって、異空間旅行を楽しんだのです。金沢の風景は、鎌倉時代から中国の杭州西湖の風景と重ね合わせて、エキゾチックな景観として認識されていました。これは、来日した禅僧や、中国へ渡航した経験のある人々によってもたらされたものです。今回は、金沢八景の成り立ちと、その流行についてお話しいたします。

出版物など：日本中世史研究事典/密教と鎌倉（講座）、ほか

### 第4回講座 金沢八景の歴史とその魅力

講師：五味文彦氏 日時：平成31年2月16日（土）13:30～15:00

日本における風景の歴史の中に金沢八景を位置づけることで、その魅力を明らかにします。歌に詠まれ、絵に描かれ、文章に書かれなどして伝えられてきた日本の風景、そのなかで金沢八景はどう位置づけられるのであろうか、金沢地域の歴史をたどりつつみつめてゆきます。そして、これからの金沢八景についても考えてみます。

出版物など：中世のことばと絵(サントリー学芸賞)  
/書物の中世史(角川源義賞)/現代語訳吾妻鏡(共編)(毎日出版文化賞)/2017年横浜文化賞 受賞、  
ほか

